

参考資料6

キノクラミンの野生ハナバチ類に係る公表文献検索結果

キノクラミンの野生ハナバチ類への毒性に関して、再評価における公表文献の提出について(令和3年10月1日付け3消安第3460号農林水産省消費・安全局長通知)に基づき、申請者から公表文献の収集結果報告書が提出された。

提出された報告書に基づき確認したところ、野生ハナバチ類登録基準設定に利用可能な文献は該当しなかった。

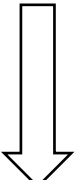
有効成分名：キノクラミン

データベース名：STN(AGRICOLA、BIOSIS等11のデータベース)、CiNii Research
及びJ-STAGE

検索対象期間：2007年1月1日から2022年7月14日

検索ワード：キノクラミンの公表文献報告書参照

(https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/saihyoka/attach/pdf/saihyouka_ka-1.pdf)

文献 検索	「生活環境動植物及び家畜に対する毒性に関する分野」に該当する 文献数	40
 適合性評価第1段階 【表題と概要に基づく適合性の有無の評価】 明らかに目的としない文献の除外		
適合性評価 第1段階 結果	「適合性なし」以外の文献数	3
 適合性評価第2段階 【全文に基づく適合性の有無の評価】 評価の目的と適合しない文献の除外		
適合性評価 第2段階 結果	「適合性あり」の文献数	0
 【適合性の分類】 分類基準を設定して全文をレビューし、評価目的への適合性をa、b、cの3つの 区分に分類 区分a：基準設定に利用可能と判断される文献 区分b：基準設定の際に補足データとして利用可能と判断される文献 区分c：a又はbに分類されない文献		
適合性の 分類結果	「区分a～c」に分類された文献数	0
 試験生物として野生ハナバチ類（wild bee、Apis cerana japonica、bumble bee等）を用い ているかどうか		
野生ハナバチ類登録基準設定に利用できる文献数		0